

「必ずあえる君のいい顔」

北海道標茶高等学校長 小 森 章 史

本校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

日頃から本校の教育活動に対しまして、保護者や地域の皆様をはじめ、関係の皆様には多大なご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます

本校は昭和二十一年に北海道庁立標茶農業学校の名称で創立し、以来 78 年間、幾多の変遷を経ながらも、常に時代の要請や地域の実情に対応しながら絶えず新しい歩みを続けてまいりました。

平成 12 年には道内 3 番目の総合学科の高校としてスタートし現在に至っております。西に軍馬山を仰ぎ、東に清らかな釧路川を望む、全国に誇る広大な校地と素晴らしい自然環境のもと、3 年間かけて「いのち」を大きなテーマにして「人」・「自然」・「食」を幅広く、体験的に学んでいきます。これまでも、地域をフィールドとした課題探究活動などを通して、人や地域をつなぎながら共に支えあい、社会の発展に貢献する人間の育成への取組が評価され、北海道教育実践表彰をはじめ数々の賞を受賞しております。

さらに、地元標茶町からも、物心両面において、多大なご支援をいただいている環境の下、生徒の皆さん一人一人を大切に育てていく教育実践に取り組んでいるところです。

本校の校訓である「不撓不屈」の四文字は、どんな困難に出会ってもひるまずくじけず、自らの目標に向かって努力し続ける本校生の心の支えとなる言葉です。苦しく厳しい状況に陥っても、「不撓不屈」の精神で簡単にめげることなく、新たな視点で自らの可能性を広げ、次の一步を踏み出せる「たくましさ」を身に付けてくれることを願い、私たち教職員は、いつでも挑戦する子ども達を見守り、応援する覚悟でいます。

本校で学び、自分を磨き、そして、自分の可能性に挑戦して、奮闘努力を重ねたその先には、必ずや逞しく成長した「いい顔」の自分がいることを確信します。

今後とも、本校の教育活動へ皆様からのご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

